2019 年 登録ランドスケープアーキテクト（RLA）資格認定試験

二次試験（その１）　問題・解答用紙

注 意 事 項

① 二次試験（その１）は、№１、№２の２問で、解答時間は２時間10分（130分）です。
② 問題用紙（下書き用紙含む）は、№１が２枚、№２が２枚で合計４枚です。
解答用紙は№１が１枚、№２が１枚で合計２枚です。
③ 問題は全問必須ですから、２問すべてに解答してください。
なお、配点は№１が20点、№２が20点で、40点満点です。
④ 解答用紙の全ページに受験番号をご記入ください。
⑤ 問題用紙、解答用紙はのり付けを切り放して使用してください。
⑥ 解答は、解答用紙に黒の鉛筆、シャープペンシル、またはペン等で記入してください。
下書き等に色を使用してもさしつかえありませんが、色を使った表現を解答した場合はその表現はすべて採点対象外となります。また、下書き用紙への記述はすべて採点対象外です。解答は解答用紙のみ記入してください。
⑦ 問題用紙の余白、下書き用紙は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、解答用紙には、計算等解答に関係のない記述はしないでください。
⑧ なお、二次試験（その１）は、№１、№２のそれぞれの採点結果を合計して評価いたします。
いずれかの採点結果が著しく低い場合は合格に至らない場合があります。
⑨ 試験終了後は、解答用紙をページ順に並べ、机の上に置いてください。係員が回収するまでそのままでお待ちください。
⑩ 問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

No. 1　土地利用ダイアグラムを作成しなさい　（配点：20 点）

■出題テーマ：港・運河などの地域資源を活かした魅力ある観光まちづくり計画

■課題

計画地は人口15万人規模の地方都市の一部で、中心市街地より約５㎞の地点に位置する港町一帯の区域である。漁業の衰退や人口減少で活力が低下していたが、近年、本計画の都市が国の地域再生計画の認定を受けたことで、公民一体によるまちの活性化の機運が高まっている。

計画地に対しては、地域再生計画で「鉄道駅のリニューアルと周辺商業地の再整備」、「豊かな歴史文化・自然・景観資源の利用と保全」が示されており、広域幹線道路ＩＣからの近接性を活かした利用拠点やルートの整備、既存資源の魅力度アップなど、来訪者の増加につながる取り組みが求められている。

次に示す計画地の現状と現況図を読み解き、解答用紙に、出題テーマを踏まえた観光まちづくりの方針を述べるとともに、方針に沿った土地利用ダイアグラムを作成しなさい。

■計画地の現状

□ 市街地地区：　鉄道駅につながる商業地一帯は、漁業の衰退とともに賑わいが低下していたが、鉄道駅のリニューアルとこれに合わせた中央通りのまち並み整備や新店舗の出店などが始まっており、中心部としての賑わいが回復しつつある。

□ 運河沿川地区：　江戸時代に開削された幅約40～50ｍの運河で、中流部には大規模な工場跡地が未利用地として残されている。また、これと接する河川の合流部にはカヤックやカヌーの乗り場がある。（※運河に架る橋は、船舶が通れる高さが確保されている）

□ 港湾地区：　かつては港町として栄えた地区も衰退が見られるが、近年はクルーズ船（定期回遊船）が運航を始めたほか、港町の歴史を伝える近代遺産の「赤レンガ建物群」が注目を集め、来訪者が増加しつつある。

□ 山林・自然海浜地区：港湾地区の東側は半島状に延びる山林地で、複数の眺望地点がある。山林地の**東**側は、砂浜と岩礁の美しい自然海岸線が続き、夏のレクリエーション地として利用されている。ただし、海岸沿いにある資材置き場は景観阻害要因となっており、他用途への転換が求められている。

■計画条件および留意事項

□ 課題１の観光まちづくりの方針は、解答欄の①～④について、それぞれの項目数以上の提案を箇条書きで枠内に収まる範囲にまとめること。

□ 課題２の土地利用ダイアグラムは、図示した凡例を参考に、図面に拠点、軸、ゾーン、回遊ルートを表示し、脇に説明の短い言葉を添えること。（○○広場の整備、○○軸の保全、○○ゾーンの充実　等）
なお、拠点やルートの整備に伴う現状の土地利用の変更や建物の改修は可能とする。

□ 土地利用ダイアグラムは、解りやすい表現を心がけること。

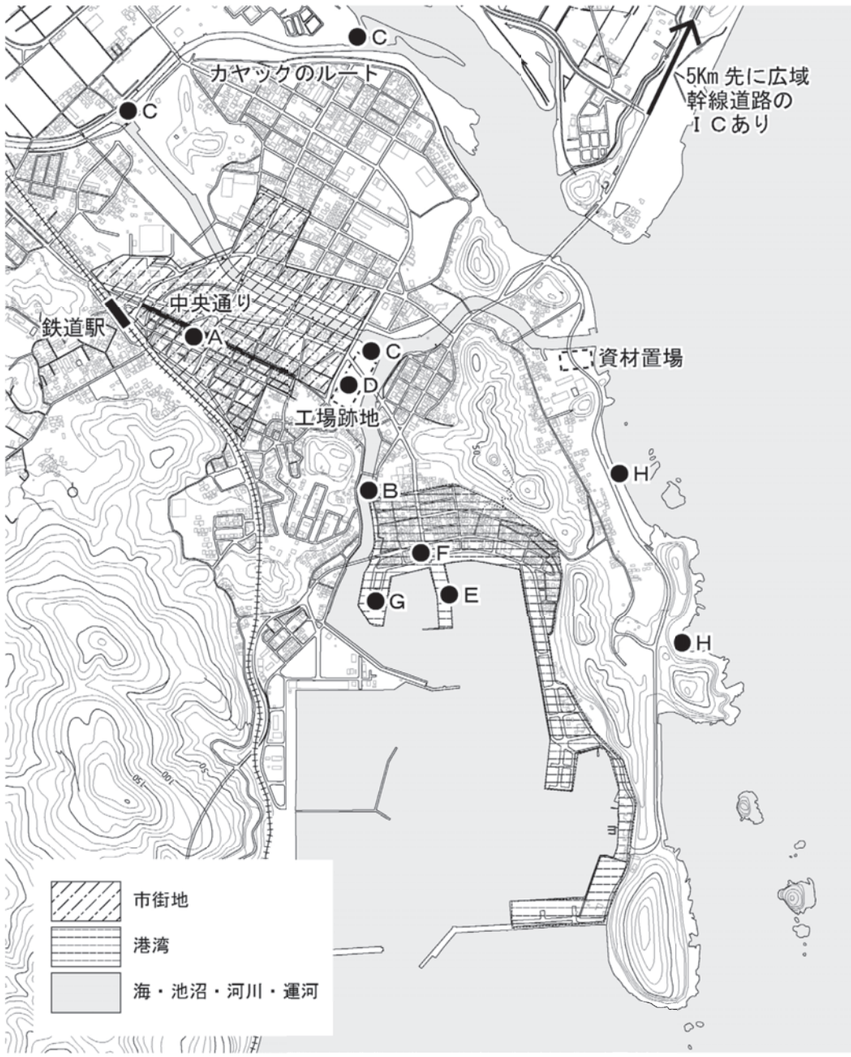
■現況図　（※ 写真はイメージです）

A. 市街地の商店街

B. 運河

C. カヤック乗り場

D. 工場跡地



E. クルーズ船発着地

F. 赤レンガ倉庫群

G. 既設公園

H. 自然海岸線

N

0　100　500　1000m

Non-Scale

課題１　以下の各課題について、指定された項目数以上の方針を記述しなさい。

①地域の自然、歴史・文化とのふれあいや交流・体験・眺望が楽しめる「拠点の整備」について
：４項目以上

②良好な景観形成に向けた「軸の確保や創出」について：３項目以上

③魅力ある観光まちづくりの基盤をなす「ゾーンの保全や機能の充実」について：２項目以上

④「回遊ルートの設定」（定期回遊船及び歩行又は自転車等によるルート）について：２項目

下書き用紙

課題２

課題１で記述した「拠点」「軸」「ゾーン」「回遊ルート」を、ダイアグラムの凡例に示す表現を参考に図示するとともに、短い説明の言葉を添えて土地利用ダイアグラムを作成しなさい。

N　S=1：15000

0　100　500　1000m

No. 2　敷地計画図を作成しなさい　（配点：20 点）

■出題テーマ

□収益施設（カフェ）の設置に合わせた市街地中心の都市公園再整備計画

■課題

計画対象地は、鉄道駅に近い公営高層住宅と文化施設の間に位置する都市公園である。本計画はこのような立地特性を活かし、Ｐark－ＰＦＩ制度による収益施設（カフェ）を導入して、賑わいのある公園へとリニューアルを行うものである。

以下の課題について解答用紙に記入しなさい。

1．カフェ棟を平面図に配置しなさい。

2．周辺施設との連携を考慮した、本公園にふさわしい「街かど広場」と「芝生広場」を計画しなさい。

3．周辺施設や上記２つの広場の配置、利用などに配慮した動線を計画しなさい。

4．本計画の考え方を記述しなさい。

■敷地条件

□ 本公園と一体的に利用される公共図書館、文化施設、公営高層住宅が隣接する。

□ 公営高層住宅には、子育て世帯や高齢者世帯が多く入居し、低層部には区民センターと保育園が併設されている。

□ 敷地及び周辺は、ほぼ平坦地であり、バリアフリーが確保されている。

□ 計画敷地内には樹高20m程度の樹木（ケヤキとクスノキ）が２本、残され保全することになっている。

■計画条件

1．カフェ棟（Ｐark－ＰＦＩ制度・公募対象公園施設）

□ カフェ棟は、地上１階建とし、規模及び間取りは凡例に示した通りとする。なお、カフェ棟の表示は建物の外郭線のみで良い。

□ アプローチや公園内への眺望などに配慮するとともに、文化施設や公共図書館などと連携して、次に述べる「街かど広場」を形成するように配置すること。

2-1．街かど広場（Ｐark－ＰＦＩ制度・特定公園施設）

□ 上記に示した「カフェ棟」の利用とあわせた面積600㎡以上の広場を設けること。

2-2．芝生広場

□ イベントやお祭りが開催できる面積1,500㎡以上の広場を設けること。

□ 芝生広場の一部に、緑陰を作る既存樹との位置関係を考慮して300㎡程度の子供の遊び場を配置すること。

3．動線計画

□ 公園内の街かど広場、芝生広場と周辺施設（文化施設、公営高層住宅、公共図書館）をつなぐ動線を設けること。なお、広場内を通る動線などは、明確な園路でなくても良い。

□ 東側道路（幅員10ｍ）は歩道幅員が狭く、西側道路（幅員6ｍ）には歩道がないことから、東側と西側の道路に沿って公園内に歩行空間（幅員2.0ｍ以上）を設けること。

4．その他

□ 街かど広場と芝生広場内には、休養施設を適宜配置すること。

□ 周囲の環境や計画する施設に配慮した植栽を配植し、計画平面図として完成させること。なお、樹種の記載は行わなくても良い（樹種名記載は採点対象外）。

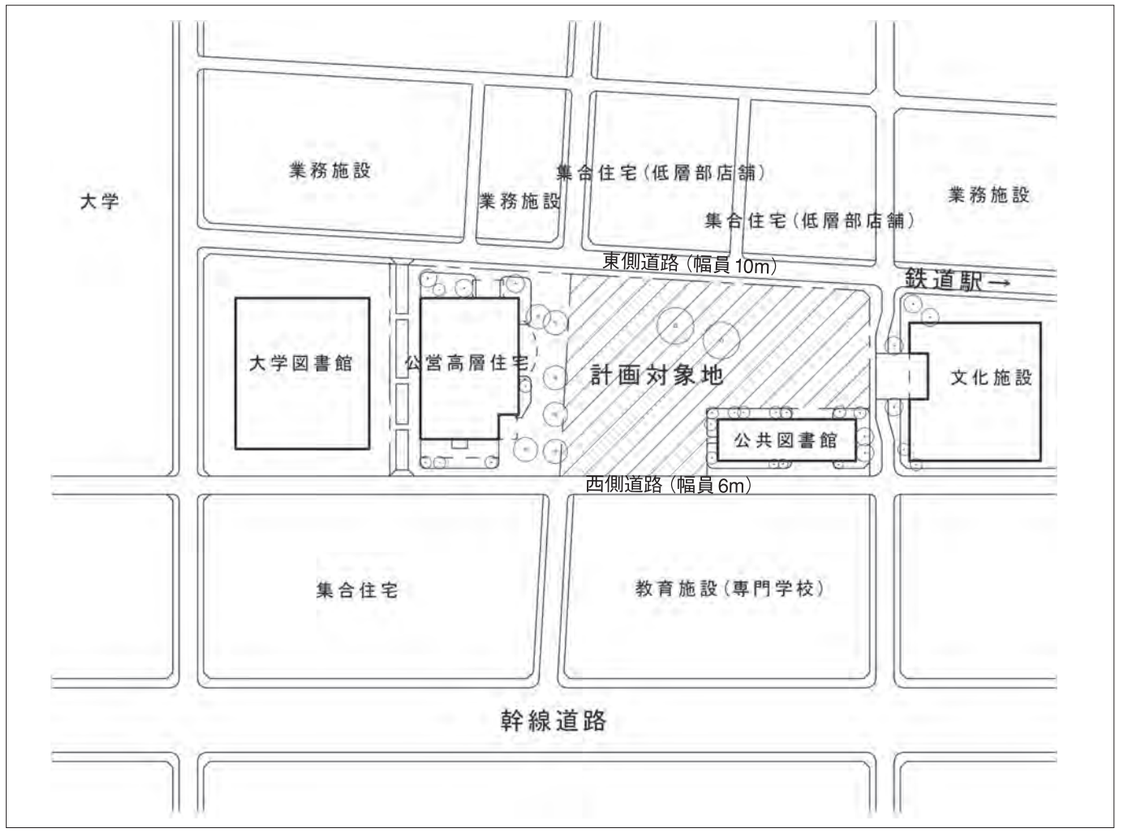
■留意事項

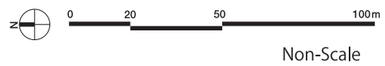
□ 計画施設は凡例に従って表記し、各施設名を表記すること。

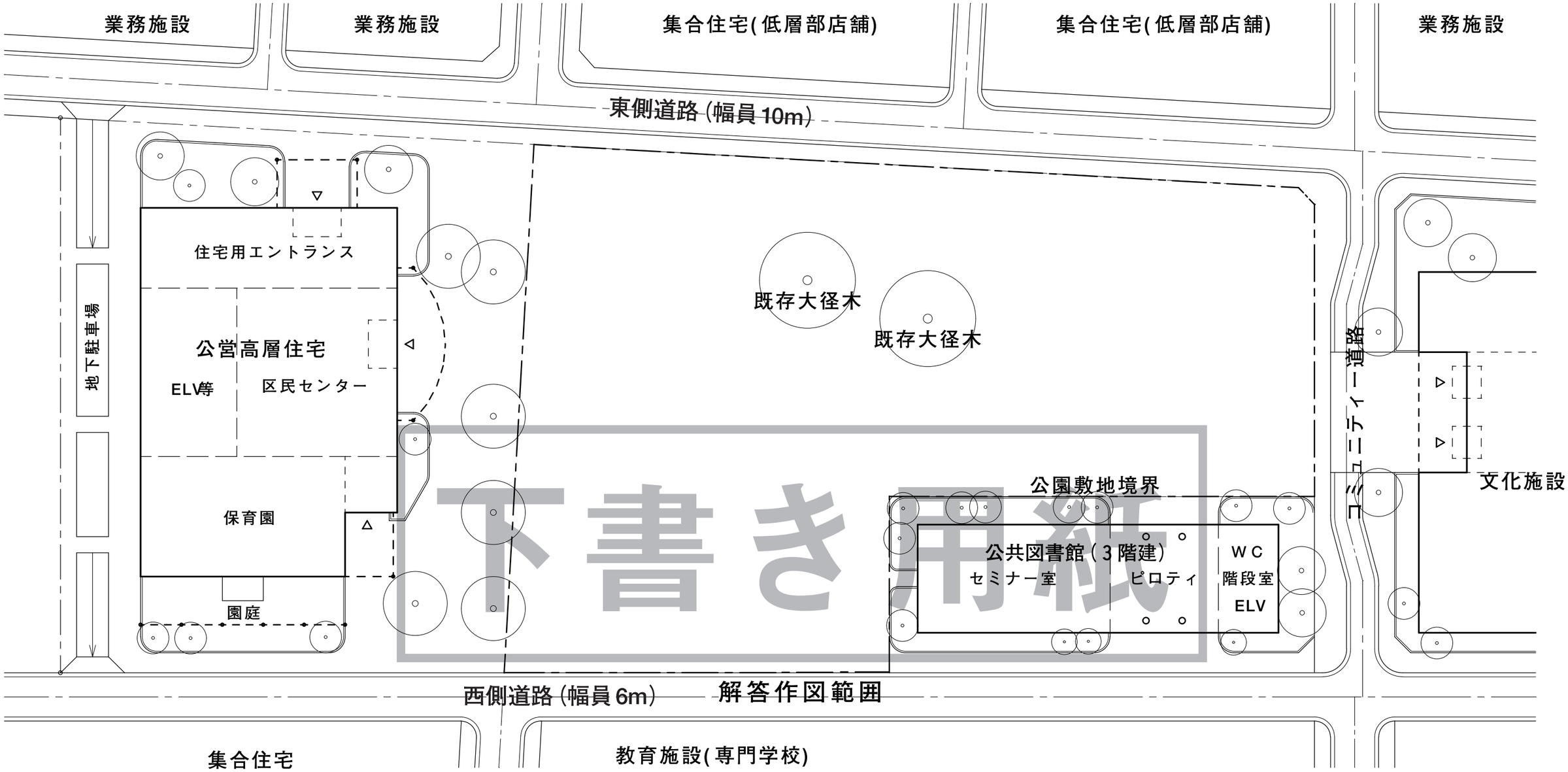
□ 凡例に表記のない施設は、その概要が分かる程度の表現とし、必要に応じて名称を記入すること。

□ 図面表現を工夫し、分かりやすく見やすい図面とすること。

■敷地周辺図

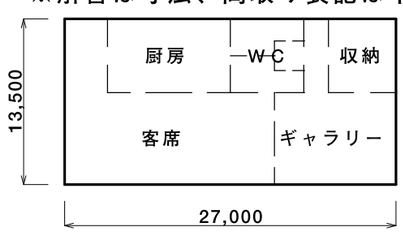




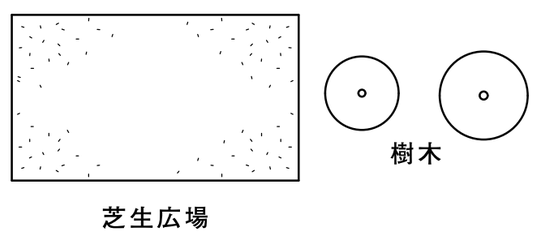


計画の考え方

●カフェ棟平面図
※解答は寸法、間取り表記は不要



●作図凡例



No. 2	敷地計画 / 問題用紙(下書き用紙)	2/2	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	解答用紙ではありません

課題１　以下の各課題について、指定された項目数以上の方針を記述しなさい。

①地域の自然、歴史・文化とのふれあいや交流・体験・眺望が楽しめる「拠点の整備」について
：４項目以上

②良好な景観形成に向けた「軸の確保や創出」について：３項目以上

③魅力ある観光まちづくりの基盤をなす「ゾーンの保全や機能の充実」について：２項目以上

④「回遊ルートの設定」（定期回遊船及び歩行又は自転車等によるルート）について：２項目

課題２

課題１で記述した「拠点」「軸」「ゾーン」「回遊ルート」を、ダイアグラムの凡例に示す表現を参考に図示するとともに、短い説明の言葉を添えて土地利用ダイアグラムを作成しなさい。

N　S=1：15000

0　100　500　1000m

No. 1	土地利用ダイアグラム 解答用紙	1 / 1	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	受験番号					

業務施設　業務施設　集合住宅(低層部店舗)　集合住宅(低層部店舗)　業務施設

東側道路(幅員10m)

地下駐車場

住宅用エントランス

公営高層住宅

ELV等　区民センター

保育園

園庭

既存大径木

既存大径木

コミュニティー道路

文化施設

公園敷地境界

公共図書館(3階建)

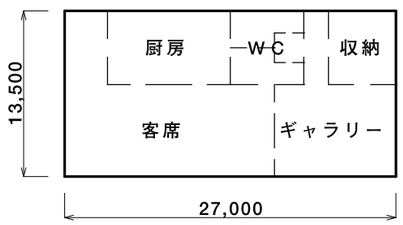
セミナー室　ピロティ　WC　階段室　ELV

西側道路(幅員6m)　解答作図範囲

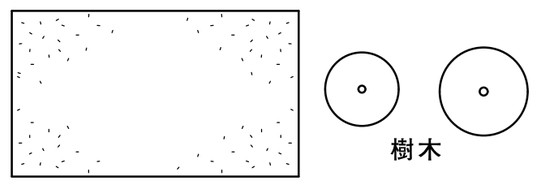
集合住宅　教育施設(専門学校)

計画の考え方

●カフェ棟平面図
※解答は寸法、間取り表記は不要



●作図凡例



N

S=1：500

0 2 5 10 25 50m

No. 2	敷地計画 / 解答用紙	1/1	RLA 資格認定試験 Registered Landscape Architect	受験番号